



インマヌエル中目黒キリスト教会

2008年12月21日

クリスマス礼拝

メッセージ

「幼児に「救い」を見る」

ルカの福音書2章21節 - 35節

竿代 照夫 牧師

聖書朗読

旧約聖書

ルカの福音書2章21節 - 35節

21 八日が満ちて

幼子に割礼を施す日となり、
幼子はイエスという名で
呼ばれることになった。
胎内に宿る前に御使いがつけた
名である。

22 さて、モーセの律法による
彼らのきよめの期間が
満ちたとき、
両親は幼子を主にささげるため
に、エルサレムへ連れて行った。

23 ——それは、主の律法に
「母の胎を開く男子の初子は、
すべて、主に聖別された者、
と呼ばれなければならない。」と
書いてあるとおりであった。 ——

24 また、主の律法に

「山ばと一つがい、または、
家ばとのひな二羽。」と
定められたところに従って
犠牲をささげるためであった。

25 そのとき、エルサレムに
シメオンという人がいた。
この人は正しい、敬虔な人で、
イスラエルの慰められることを
待ち望んでいた。
聖霊が彼の上にとどまって
おられた。

26 また、主のキリストを
見るまでは、
決して死なないと、
聖霊のお告げを受けていた。

27 彼が御霊に感じて宮にはいると、
幼子イエスを連れた両親が、
その子のために律法の慣習を
守るために、はいつて来た。

28 すると、シメオンは幼子を
腕に抱き、
神をほめたたえて言った。

29 「主よ。今こそあなたは、
あなたのしもべを、
みことばどおり、
安らかに去らせてくださいます。

30 私の目があるあなたの御救いを見
たからです。

31 御救いはあなたが万民の前に
備えられたもので、

32 異邦人を照らす啓示の光、
御民イスラエルの光栄です。」

33 父と母は、幼子について
いろいろ語られる事に驚いた。

34 また、シメオンは両親を祝福し、
母マリヤに言った。

「ご覧なさい。この子は、
イスラエルの多くの人々が倒れ、
また、立ち上がるために
定められ、また、
反対を受けるしるしとして
定められています。

35 剣があなたの心さえも

刺し貫くでしょう。

それは多くの人の心の思いが
現われるためです。」

説教

聖誕節講壇

「幼児に『救い』を見る」

ルカの福音書2章21節—35節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「主よ。今こそあなたは、
あなたのしもべを、
みことばどおり、
安らかに去らせてくださいます。
私の目があなたの御救いを
見たからです。」

(ルカ2:29—30)

1. アドベントからクリスマスへ

①ザカリヤの沈黙とその恵み (イラスト①)



②マリアへの受胎告知と
彼女の服従（イラスト②）



③救い主を待ち望んだ羊飼いだ
(イラスト③)



④（今日）イエスを抱いた
老シメオンの喜び（イラスト④）



2. キリストの誕生:

ベツレヘムの馬小屋で
(イラスト⑤)



3. 生後**40**日目の礼拝：

エルサレム神殿で

4. 「シメオン」という老人

①正しい人

②神を畏れる人

③救い主（メシア）を待望

④聖霊に満たされていた

5. シメオン、救い主と出会う

(イラスト④)



6. シメオンの喜び： 使命が終わった安堵感

7. シメオンが捉えた「救い」

①現在のなもの：「今」

②万民のためのもの：

「イスラエル人も異邦人も」

③輝かしいもの：「光」

8. 救いは、「想定外」の方法で 齎される

①人間の本質をあぶりだす

②自分が犠牲となる

③信頼の拠り所となる

9.

求道の姿勢こそ
クリスマスに相應しい